

1	審議会名	第2回真田地域協議会
2	日時	令和5年5月23日(火) 午後7時00分から午後8時20分まで
3	会場	真田地域自治センター3階 講堂
4	出席者	荒木克子 委員、金井由造 委員、木島徳行 委員、澁澤春代 委員、清水由香 委員、関口俊行 委員、高寺由美子 委員、田畑和秀 委員、中村守 委員、廣瀬しず江 委員、堀内和子 委員、堀内靖子 委員、本多美和 委員、松本規男 委員、丸山美奈子 委員、皆川克彦 委員、柳沢泉 委員、
5	市側出席者	田中地域自治センター長、羽毛田地域自治センター次長兼地域振興課長、半田市民サービス課長、小林産業観光課長、田中真田地域建設課長、松木教育事務所長、山浦真田消防署長 宮島課長補佐兼地域政策担当係長、櫻井主査、坂井主事、望月主査
6	公開・非公開等の別	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7	傍聴者	1人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和5年5月24日

協議事項等

会議次第

- 1 開会（田畑会長進行）
- 2 会長あいさつ
- 3 センター長あいさつ
- 4 令和5年度真田地域各課等の目標及び予算について
 - ・事務局から本協議会で項目とした主旨等の説明。
 - ・羽毛田真田地域振興課長から目標及び予算の説明
 - ・半田真田市民サービス課長から目標及び予算の説明
 - ・小林真田産業観光課長から目標及び予算の説明
 - ・田中真田地域建設課長から目標及び予算の説明
 - ・松木真田地域教育事務所長から目標及び予算の説明
 - ・山浦真田消防署長から目標及び予算の説明

【質疑】

(委員) 産業観光課の説明の中であった中山間地域農業直接支払い交付金の内容がわからない。どのような支援制度なのかを教えてください。

また、教育事務所に聞きたいが、昨年のシリーズ文化講演会の時に照明があまりに良くなく暗いという声が上がったのだが改修という考えはあるのか、なければ検討してほしい。

(産業観光課長) この中山間地域農業直接支払交付金の内容としては、真田地域の中で傾斜がきつい畦や法面が高い箇所を対象に、14 地域を指定している。その箇所の面積を計測し、農家の皆さんに維持管理をしてもらい遊休荒廃地を出さないという取組だ。荒廃地がなければ、1 平米あたり 16.8 円の交付金を国から交付してもらい、そのお金で草刈りや水路等の改修などに充てるという交付金である。それら予算が地域全体で 1,320 万円と言うことになる。これ以上遊休荒廃地を増やさないという取組に向けて地域と協定を結びながら、交付金を活用して農地を維持管理していく。

(教育事務所長) 現在、中央公民館の大ホールの照明はLED化されている。一方、スポットライトは旧式のままである。それは順次設備の状況を見ながら改修は検討していく。今回のシリーズ講演会に関していえば、スクリーンを張り映像を投影したため会場を暗くした。そのため、メモを取りたい方から手元

が暗いという御意見をいただいた。カーテンを開けたりなどの対応をしたが、今後もスクリーン投影などの講演会は多く続くと思うので、スクリーンの見やすさと手元の明るさの確保については工夫していきたい。

(委員) 地域振興課に対してだが、地域協議会において有線放送の廃止の話の際に各家庭の機器や引き込み線などについてはしっかり処理してもらうよう要望したが、その後今年度の撤去についてはどのような予定になっているか。

(地域振興課長) 有線機器の撤去については、近日(撤去業者選定に係る)入札を予定している。宅内の受話器やスピーカーなどの撤去を予定する。スケジュールとしては今月内に業者決定、6月以降から年度内について各世帯の撤去工事を順次進めていく。

(委員) その場合、有線廃止まで加入していたお宅はそのスケジュールだと思うが、その前に解約した家庭もフォローしてもらえるのか。

(地域振興課長) 業者への発注件数は、有線廃止時の件数で出しているが、もし個別で対応が必要な家庭はご相談いただければと思う。

(委員) 関連してだが(機器撤去の予定については)一軒一軒の加入者へのご案内ということか。地域全体への回覧などをとるのか。

(地域振興課長) 業者が決定した段階になるが、各家庭に撤去予定日時をお送りし、都合が悪ければ可能なタイミングをお聞きしながら進めていく。

(委員) 市民サービス課の目標設定の順位一番の期間設定が通年ではなく年度内だが主旨は何か。

(市民サービス課長) 年度内となっているが通年で行うものだ。

(委員) 年度内と通年は全く違う。年度内に(設定目標を)やればよいになってしまう。

(市民サービス課長) 通年に修正したい。

(委員) 人権学習会について、去年は子どものスマホやパソコンの落とし穴という内容だったと思うが、若年層の保護者も知らないことが多かったのでは是非これをやってほしいし、地域だけでは人が集まらないのでPTAなどにも声をかけてそれらに参加してもらえるよう働きかけてほしい。

(教育事務所長) まず人権学習懇談会については、自治会の人権推進委員さんに学習会周知や日にちの設定などもしてもらっていることになっているので自治会の中で多く集まってもらえるよう引き続きご協力をいただきたい。また、人権学習会での内容については自治会の中で御希望があるようであれば推進委員さんに希望内容を伝えていただければこちらでそれに合わせて用意ができるのでお申し出いただきたい。

(委員) 地域振興課に聞きたい。施設に関連した質問だが総合福祉センターについて、老人センターと統合する話か、多目的な施設とする話か。それと福祉センターは体育館を含めての話か。

(地域振興課長) 体育館は別となる。方針としては、総合福祉センターと真田老人センターを統合してはどうかという方針だ。

(委員) もう古いのだが体育館も耐震となっていないと思うが。

(地域振興課長) 耐震化はされていない。

(委員) もう古いものだから耐震化など検討していただければと思う。

(センター長) 総合福祉センター老人センター統合と合わせて、センター周辺の公共施設整備計画との調整という事項になる。体育館は御指摘のとおり耐震化という点は非常に重要で、災害時の避難場所としてもなっている。耐震化の調査も行っていないし耐震化はクリアしていない。それらも併せて検討していきたい。

たい。

(委員) よくわかった。もう一点、産業観光課に菅平自然館について現在利用者は大体どれくらいかわかるか。

(産業観光課長) 現在手元に資料が無くお答えできないが、現在築 50 年近く経過しており雨漏りなどもしている。昔のように社会科見学等で利用する学校等も減っている。利用者については昔と比べると減っているという状況だ。

(委員) 今は自然館に入っている人をあまり見ない。遊歩道も含めて(利用状況は)どうか。

(産業観光課長) 自然館の奥に湿原が広がっており遊歩道が整備されている。遊歩道については木道だが部分的に修繕などは繰り返しているが、全体としては老朽化しており原材料支給などで修繕を入れている。湿原・自然館合わせて、あり方というのを考えていかなければならない。具体的な形で方針の策定とさせていただきたい。

(副会長) 今の質問であった数値はまたお調べいただき皆さんに示してもらいたい。

(委員) 真田消防署に、消防設備の補助金の関係で質問したい。昨年度は消防設備の補助の関係で消防ホース申請全額が補助対象になったが、今年度は申請の全てでなく削られた。予算的に昨年と本年はどの程度予算的に異なるのか。

(真田消防署長) 現在手元に資料を持ち合わせてなく昨年の具体的な数値はお示しできないが、市内全体で3割ほど削られており、本年度申請していただいた自治会のそれぞれに割り当てられる本数とさせていただき、補助させていただいた。

(委員) これは来年度も同じような状況かという見込みはわかるか。

(真田消防署) 我々としても地域から出てきた要望は全て上げているが、市内全体の予算になってくるので、全体として厳しい状況であるとは聞いている。

5 報告・確認事項

(1) 次回協議会日程等について

- ・予定どおり、6月27日(火)午後7時から開催。内容等については正副会長と事務局にて決定。

(2) その他

(事務局から)

- ・「真田の郷を描く」公募展チラシの紹介

6 閉会